※令和４年度以降入学生用

学校番号	1206

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)鍵盤楽器入門	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

鍵盤楽器の実技を基礎から学び、個々の能力に合わせて楽曲演習を行う。平行してソルフェージュの学習も行い、音楽理論の基礎を身につける。

２　学習の到達目標

・演奏技術の基礎及び創意工夫の表現に必要な技能を身に付け、鍵盤楽器で表すことができる。
・鍵盤楽器の特性を感受しながら知覚したことと甘受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持つことができる。
・自身の進路と関連づけたり、様々な分野での自己表現力を伸ばしたいという意図を持ったりすることで、主体的・協働的に鍵盤楽器の学習活動に取り組むことができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と鍵盤楽器の音色や奏法との関わり、様々な表現形態による特徴について理解している。（知識） 創意工夫を生かして表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識し、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、鍵盤楽器で表している。（技能）	鍵盤楽器の音色、選択した楽曲のリズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、厚生を知覚し、それらの働き感受しながら、知覚したことと甘受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	自身のレベルに適した鍵盤楽器の奏法を身に付けることや、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に鍵盤楽器の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション・楽典 レベル別個別課題設定 中間実技試験	【鍵盤楽器の基本①】 〇指番号・フォーム・座り方・「ドレミファソ」の練習・指の練習 〇習熟度による課題曲・自由曲の設定、練習 【中間実技試験】 〇選択した課題曲・自由曲の個別チェック	a:【知】鍵盤楽器の基本について理解を深めている。 【技】奏法を理解して楽曲を演奏している。 b：技能向上に向けて演習を継続して行っている。 c:主体的・協働的に鍵盤楽器の学習に取り組もうとしている。	実技発表	観察 ワークシート	観察 ワークシート
	個別課題 楽典 期末実技試験	【鍵盤楽器の基本②】 〇音部記号・拍子記号・音符・休符・コード(C,G) 〇習熟度による課題曲・自由曲の設定、練習 【期末実技試験】 〇選択した課題曲・自由曲の個別チェック				
2学期	個別課題 楽典・映像鑑賞 中間実技試験	【鍵盤楽器の応用①】 〇指くぐり・指またぎ・調号 〇習熟度による音階練習・課題曲・自由曲の設定、練習 【中間実技試験】 〇選択した課題曲・自由曲の個別チェック	a.【知】鍵盤楽器の基本について理解を深めている。 【技】奏法を理解して曲想を工夫して演奏している。 b：技能向上に向けて演習を継続して行っている。 c:主体的・協働的に鍵盤楽器の学習に取り組もうとしている。	実技発表	観察 ワークシート	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	個別課題 楽典・筆記試験 期末実技試験(発表会)	【鍵盤楽器の応用②】 ○重音・コードのアレンジ(C,G) ○習熟度による音階練習・課題曲・自由曲の設定、練習 【期末実技試験】 ○選択した課題曲・自由曲の発表（発表会形式で評価）				
3学期	個別課題 期末実技試験(発表会)	【鍵盤楽器の応用③】 ○コードのアレンジ(C,G)・連弾 ○習熟度によるアレンジ曲・連弾曲の設定、練習 【期末実技試験】 ○選択したアレンジ曲の個別チェック ○選択した連弾曲の発表（発表会形式で評価）	a.【知】コードの構成音や仕組みについて理解を深めている。 【技】奏法を理解して曲想を工夫して演奏している。 b：技能向上に向けて演習を継続して行っている。 c：主体的・協働的に鍵盤楽器の学習に取り組もうとしている。	実技発表	観察 ワークシート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度